

復興研究会報告

NO.26(令和元年度 第2号)

発行

岩手県立大槌高等学校

復興研究会・OA部

発行日

令和元年8月27日

他校交流

7・8月に日本各地から大槌高校へ交流のため多くの高校生が訪れました。訪れた高校は、明大中野八王子高校 八日市南高校 白百合学園中学高等学校、豊中・桜塚の方々でした。

生徒会・他校交流班を中心にして、交流をおこないました。その様子をお伝えします。



相手校の紹介の映像は説明付きで、とてもわかりやすく楽しみながら見ることができました。意見交換では、防災に対して学校全体の意識が低く驚きました。生徒の中には、今まで一回も訓練をしたことがない人がいました。災害はいつ起こるか分からないので、危機感を持って欲しいと思いました。
(2年女子)



豊中市の4つの高校のみなさんと同時に交流したのは今回が初めてでした。それぞれの高校のことや一人一人の防災意識についてもたくさん知ることができました。とても充実した時間を過ごすことができました。

(2年女子)



久しぶりに桜塚高校の方に会うことができたので良かったです。意見交換では互いの学校の話をし、大槌町の復興や震災当時の状況について話しました。大槌町の事をたくさん知ってもらい良い機会になりました。あらためて交流会は大切だと思ったので、これからも積極的に他校交流に参加したいと思います。

(2年女子)



復興研究会 in おしゃっち

(フォーリンプレス)



7月31日に大槌町の文化交流施設『おしゃっち』でアジア、ヨーロッパの海外メディアの方、約15名に津波紙芝居を披露し、質疑応答を行いました。参加した生徒の声を紹介します。

海外の方々と交流するのは、今回が初めてでした。プレゼン発表では、ゆっくり話すように心がけましたが、途中で「もう少しゆっくり」といわれてしまい、戸惑ってしまいましたが、後半は通訳の方

の声を聞きながら落ち着いて発表できたと思います。終了後の質疑応答では、難しい質問に答える事が出来ず、3年生の2人に頼ってしまいました。私も難しい質問にも答えられるようになり、頼られる存在になりたいです。(2年女子)

